

11 番（小川義昭君）

次に、歯と口腔の健康づくりについてをお伺いします。

健康寿命を延ばすことの意義をここまで述べてまいりましたが、私なりに思い至るのは、生活習慣の大切さです。体を動かし、適度に運動する習慣はもとより、栄養バランスのとれた食事と十分な睡眠が不可欠であります。バランスのよい食事には丈夫な歯と口腔の健康もまた必要と書いていいでしょう。

つい最近、タレントで女優の堀ちえみさんがみずから舌がんであることを公表し、口腔外科や口腔の健康への社会的な関心の高まりもあり、歯と口腔の健康づくりについて私なりの見解を述べたいと思います。

近年、歯周病が糖尿病や痴呆症に影響していることが明らかになるなど、歯と口腔の健康づくりへの関心が集まっています。口腔の健康は子供の健やかな心身の成長を促し、高齢者や要介護者の口腔機能の向上が歯科疾患の重症化の予防につながるなど、生活習慣病や要介護状態の悪化の予防効果もあるなど、市民の健康づくりを推進する上で、歯と口腔の健康は重要な役割を果たすものと期待されています。このことから、全身の健康と深くかかわる歯と口腔の健康づくりに努めることは、健康寿命の延伸に重要な役割を果たすものと考えられます。市民一人一人が健康で充実した生活を送るためには、何より歯と口腔の健康づくりを推進する施策が必要と書いていいでしょう。

石川県は、国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を参考に、平成 26 年、石川県歯と口腔の健康づくり推進条例を制定しました。次いで、平成 28 年にはいしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画を策定し、今後 6 年間の歯と口腔の健康づくりに関する施策の総合かつ計画的な推進を図っています。

本市においては、平成 29 年度が白山市健康プランの最終年度であることから、平成 30 年度からの新たな取り組みに向けての評価・見直しを行い、第 2 次白山市健康プランを策定し、国や県の施策の取り組みを参考にしながら、市民一人一人が主体的に健康的な生活習慣を実践し、いつまでも元気ではつらつと暮らせるように、生活習慣病の発症予防など各種保健サービスの充実を図っています。

そこで、質問いたします。

幼児期から成長期にかけての虫歯などの歯科疾患は子供たちの健全な成長や成人期以降の歯と口腔の健康に大きな影響を与えるものと考えます。また、歯周病が糖尿病や誤嚥性肺炎のリスクの上昇や動脈硬化の進行にも影響を及ぼし、妊婦が重度の歯周病に罹患すると早産を起こしやすいなど、全身の健康のためにも歯周病の予防・治療が重要であります。

事ほどさように、歯と口腔の健康づくりは市民の健康づくりと生活の質の向上に重要な役割を果たすものでありますが、本市は、こうした点に関してどのように認識しているのでしょうか。その上で、幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じた歯と口

腔の健康づくりにおける本市の取り組み事業についてお伺いいたします。